

## ふるさと納税に関する現況調査

## &lt; I. ふるさと納税の受入額について &gt;

## 1. これまでのふるさと納税の受入金額の実績について記入してください。

※個人からの寄附件数・金額を記入してください。ただし、個人・法人からの寄附の区別ができない場合は、合算額を記入し、「個人・法人を区別することができない」に○を入れてください。

※市区町村内・市区町村外(都道府県内・都道府県外)からの寄附の区別ができない場合は、右欄には「-」を記入してください。

※寄附件数及び寄附金額については、各市区町村(各都道府県)で「ふるさと納税」と整理しているものを記入してください。(その結果として、ふるさと納税の募集等を開始する以前の年度等の寄附について「0」との回答をいただくこともあり得ます。)

※ふるさと納税とそれ以外の寄附を明確に区分していない場合には、寄附金収入全体をふるさと納税として、普通決算統計上の寄附金額を回答していただいても結構です。

※数字を入力する場合には、半角で入力してください。

## ①-1 平成27年4月～9月末までの寄附額の実績

平成27年4月～9月末までに受け入れた寄附件数、金額			左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの		
寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない	寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない
15,111	248,415,102	○	15,105	248,325,102	○

※6件90,000円

## ①-2 平成26年4月～9月末までの寄附額の実績

平成26年4月～9月末までに受け入れた寄附件数、金額			左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの		
寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない	寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない
4,399	53,154,100	○	4,398	53,144,100	○

※1件10,000円

## ② 平成26年度の寄附額の実績

平成26年度に受け入れた寄附件数、金額			左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの		
寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない	寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない
9,660	118,712,200	○	9,656	118,672,200	○

※寄附者数を報告

※4件40,000円

## ③ 平成25年度の寄附額の実績

平成25年度に受け入れた寄附件数、金額			左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの		
寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない	寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない
62	2,455,000		60	2,435,000	

※2件20,000円

## ④ 平成24年度の寄附額の実績

平成24年度に受け入れた寄附件数、金額			左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの		
寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない	寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない
25	585,000		24	575,000	

※1件10,000円

⑤ 平成23年度の寄附額の実績

平成23年度に受け入れた寄附件数、金額			左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの		
寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない	寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない
15	3,695,000		14	3,395,000	

※1件300,000円

⑥ 平成22年度の寄附額の実績

平成22年度に受け入れた寄附件数、金額			左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの		
寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない	寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない
24	560,000		24	560,000	

⑦ 平成21年度の寄附額の実績

平成21年度に受け入れた寄附件数、金額			左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの		
寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない	寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない
21	690,000		20	590,000	

※1件100,000円

⑧ 平成20年度の寄附額の実績

平成20年度に受け入れた寄附件数、金額			左記のうち、市区町村外(都道府県外)からの寄附に係るもの		
寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない	寄附件数 (件)	寄附金額 (円)	個人・法人を区別することができない
9	695,000		9	695,000	

・以上の実績額の推移についての考えを記入してください。大きな増減がある場合は、考えられる理由を記入してください。

平成23年度より寄附の返礼品を始めていましたが、26年度より返礼品を町HPに具体的に掲載し、ふるさと納税ポータルサイトへの掲載も始めたところ、各メディアに取り上げられるようになり、実績額が大きく伸びたと考えられます。また、平成27年度は控除額が約2倍となったことも要因となっています。

(上記寄附金額の実績について、ふるさと納税とそれ以外の寄附を明確に区分していない場合で、普通決算統計上の寄附金額を記入した団体にあつては、下記記入欄に「○」を記入してください。)

< II ふるさと納税を募集する際の取組について >

2. ふるさと納税を募集する際に工夫している取組について記入してください(ふるさと納税を財源として実施する事業を具体的に明示する、出身者の集い等の機会に重点的にPRする等)。また、その工夫をすることとした理由を記入してください。

ふるさと納税専用HPを設置。ふるさと納税による寄附金の用途を大きく5つに分け明示。観光イベント等でのステージPR。町独自の郵便局払込票付きリーフレット作成。特典カタログを作成。

3. ふるさと納税を募集する際に、用途(ふるさと納税を財源として実施する事業等)を選択できるようにしていますか。

①…選択できる                      ②…選択できない

・(上記で①を選択した場合) 選択できる範囲について該当するものを選択してください。

A…分野を選択              B…分野又は具体的な事業を選択              C…具体的な事業を選択

・(上記でB・Cを選択した場合) 具体的な事業名について、代表的なものを3つ記入してください。

①    ②    ③

--	--	--

### <Ⅲ.ふるさと納税に係る寄附金を活用して実施した(する)事業について>

4. ふるさと納税を財源として実施する事業について、平成26年度実施事業及び平成27年度実施事業(予定を含む。)をそれぞれ3つ((ふるさと納税充当額が多い順に3事業)について、「事業名」、「事業費」、「事業費のうちふるさと納税充当額」を記入してください。

(単位:千円)

区分	平成26年度実施事業			平成27年度実施事業		
	事業名	事業費	うち、ふるさと納税充当額	事業名	事業費	うち、ふるさと納税充当額
1				宿泊施設改修工事	15,174	12,904
2				教育振興経費(小学校) 教材品費・就学補助、学校修繕ほか	9,730	7,993
3				産業活性化支援事業補助金	3,000	2,700

※返礼品等に要したのやふるさと納税事業に係る事務費等は除きます。

**※26年度は、25年度の寄附金額が少額のため、指定された分野の一般財源に充当**

・上記事業の実施がどのような効果を生んでいますか。また、どのような効果を期待していますか。経済的効果やそれ以外の効果について、それぞれ記入してください。

#### ●経済面での効果

- ・26年度は、返礼品の送付により、町内業者に約4,000万円の経済効果がありました。業者へ直接注文するリピーターもあり、町内業者の顧客獲得にも繋がっています。
- ・産業活性化支援事業補助金は、町内で起業する事業者及び新商品開発、販路開拓等を行う事業者へ補助金を交付しており、町内の経済の活性化に繋がっています。

#### ●経済面以外での効果

- ・宿泊施設改修工事については、利用者の利便性の向上、危険性の除去の効果は元より、建物自体の景観向上にも繋がっています。
- ・教育振興経費(小学校)では、小学校の駐車場を拡充し統合による遠方の保護者の駐車スペースを確保した。また、学用品、給食費、修学旅行費などの就学援助を行い、教育格差の是正が図られた。
- ・人的交流の増加(観光施設の従業員によると、ふるさと納税を機会に、来訪する方が増えています。)

5. ふるさと納税の受入額実績や活用状況について、特定のページを設けるなど広報媒体(団体HP、広報誌等)を活用した公表を行っていますか。また、広報媒体での広報自体は行っているものの、各年度の実績額や事業内容等を詳しく公表していない場合については、その旨と理由を記入してください。

町ふるさと納税HPと町広報誌で、受入額実績、活用状況を公表。また毎年度、全戸に配布している予算の内容を説明する冊子(「よくわかる今年の仕事」)に、各事業へのふるさと納税の充当額を掲載。

### <Ⅳ.その他>

6. 平成20年度にふるさと納税制度が創設され7年が経過しました。今後、どのように地方創生に繋げていくかも含め、ふるさと納税制度についてどう考えているか記入してください。

ふるさと納税を財源とした事業を明示し、町の課題解決のための財源として、利用したいと考えています。また、返礼品をお贈りすることは、町内業者への売り上げにも繋がり、一次産品については、農家直接発送による顧客獲得、加工業者の入札による市場価格の上昇等、一次産業者の所得の向上にも繋がるため、続けていきたいと考えている。

7. 平成27年度税制改正(特例控除の上限額の引上げ、ふるさと納税ワンストップ特例制度の創設)について、どう受けとめていますか。また、広報や、ふるさと納税ワンストップ特例制度の運用において工夫している点(予定を含む。)があれば、併せて記入してください。

ふるさと納税をする方が増え、寄附者の手間を省くことは良い制度ですが、制度開始まで自治体への情報(手続きや様式等)が全く入って来なく、ふるさと納税ポータルサイトを運営している民間会社等の方が詳しく理解しており、煩雑になる事務を外部委託する自治体が増え、いただいた寄附金が、外部へ流出してしまっているように感じています。

本町では独自にシステムを作り、寄附者の情報を差し込みできるような仕組みを作っている。

システム作りには、大変な時間がかかるので、様式や手続きの流れ等の情報提供は、明確に早急をお願いしたい。

8. ふるさと納税に対する返礼品送付について、返礼品を送付している場合、返礼品を送付していない場合いずれも、その旨とその理由を記入してください。

※ここでいう「返礼品」とは、特産品等の物品や、施設の利用などのサービスが受けられる権利などのような、経済的価値を有するものを広く含むものです。

返礼品をお贈りすることで、寄附金募集と地場産品をセットにしてPRできるため。

・(返礼品送付有と回答した場合)返礼品について、どのようなものを用意しているか、その返礼品を選んだ視点なども含めて記入してください。

本町は、北海道北西部日本海に面し、秀峰暑寒別岳の裾野には果樹園地帯が広がり、海の幸、山の幸が豊富にあります。

他にも、日本最北の酒蔵である「国稀酒造(株)」、そこで造られた酒粕を使ったラーメン、近年全国トップクラスの評価を受けている北海道産米など、味覚の宝庫であるため、ふるさと納税の返礼品として特産品を掲載することで、ふるさと納税に興味を持った方へ、本町の豊富な特産品を知っていただけるチャンスと考え、様々なジャンルから協力業者を募り、商品の提案をしていただき、返礼品として採用している。

9. 返礼品をめぐるこれまでの議論や、平成27年4月1日の総務大臣通知等を踏まえ、ふるさと納税の募集方法における返礼品の取扱いについて、見直しを行いましたか。また、今後、見直しを行う予定はありますか。見直し内容、時期、方向性等について記入してください。

本町では、当初よりあくまでも寄附の制度という視点から、寄附に対する返礼品の還元率は低く抑えていたため、総務大臣通知等により見直すものではありませんでした。

10. その他、ふるさと納税制度に対する意見がありましたら、記入してください。

【以上】